

平成19年度 各局予算要求の概要

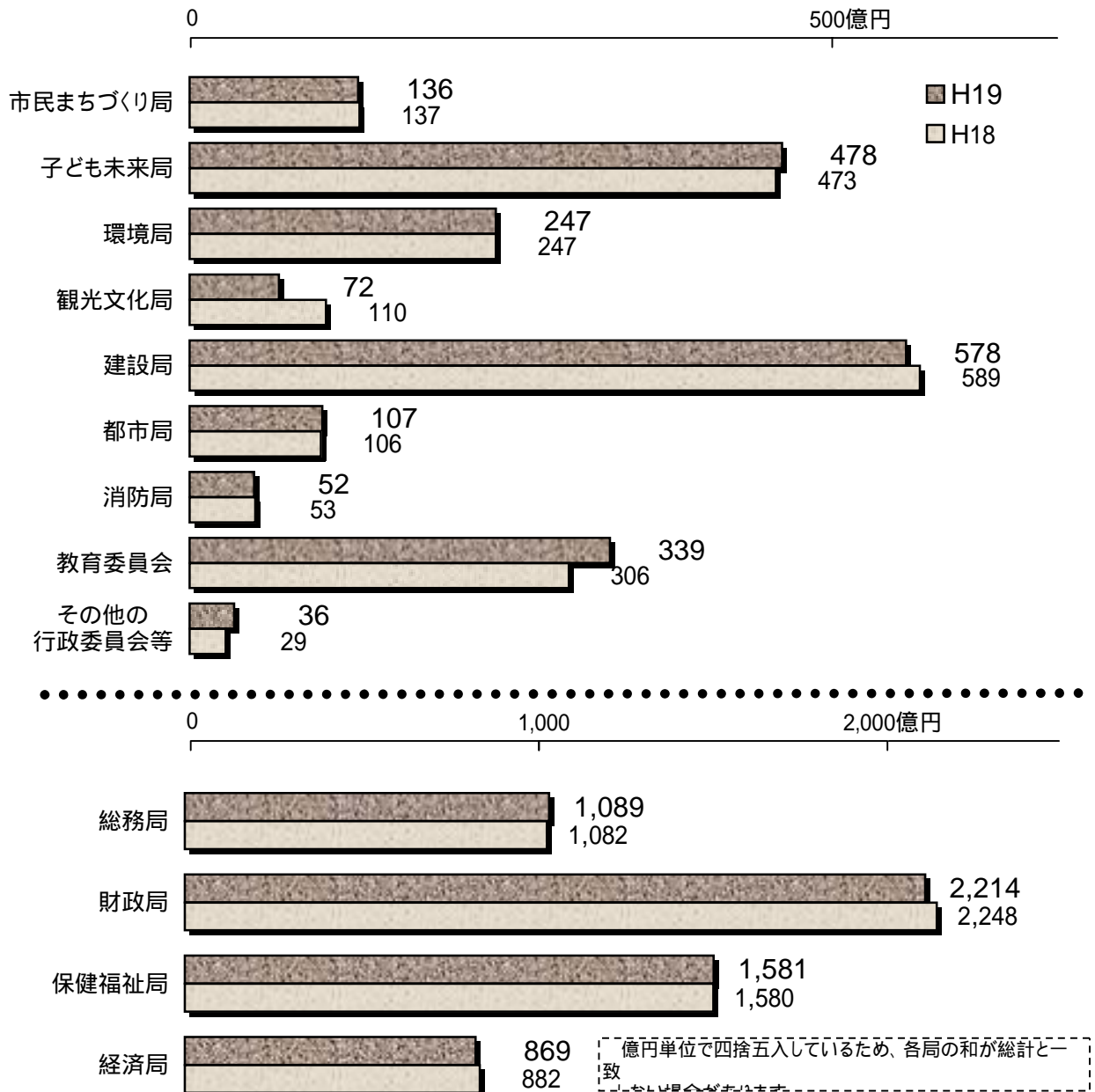
1 予算要求総額(一般会計)

H19予算要求総額 7,799 億円 前年度予算対比 ▲41 億円
 (H18当初予算総額 7,840) ▲0.5 %

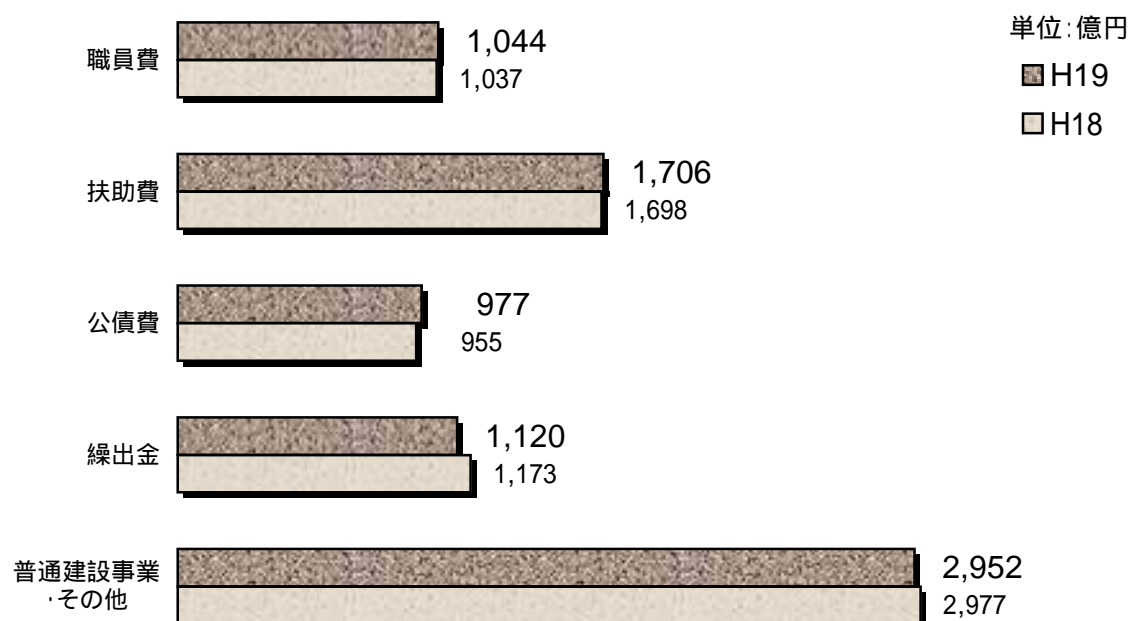
平成19年度予算は、来春に市議会議員及び市長選挙を控えていることから、例年実施している継続的な事務事業にかかわる経費や義務的経費を中心とする骨格予算として編成します。

2 18年度当初予算との比較

(1)局別比較



(2) 経費の性質別比較



3 特別会計の要求状況

単位: 百万円

	H18	H19	増減	増減率
土地区画整理	7,040	6,528	▲ 512	▲ 7.3
団地造成	132	127	▲ 5	▲ 3.8
駐車場	331	335	4	1.2
母子寡婦福祉 資金貸付	260	253	▲ 7	▲ 2.7
国民健康保険	183,480	205,801	22,321	12.2
老人医療	182,091	177,491	▲ 4,600	▲ 2.5
介護保険	86,000	87,826	1,826	2.1
基金	968	1,529	561	58.0
砂防用地先行取得	103	0	▲ 103	▲ 100.0
特別会計合計	460,405	479,890	19,485	4.2

特別会計合計には公債会計を含まない

4 各局予算要求の概要 p. 3 ~ p. 14 のとおり

総務局

一般会計要求総額
108,943百万円
(対前年度 +0.7%)



<要求の基本的考え方>

市民の視点で、より効率的な市民志向・成果志向の市政運営を行っていくことを念頭におき、以下の役割を十分に果たすための予算を要求することとします。

- 1 市長、副市長などのリーダーシップの発揮を補佐する
- 2 広報・広聴、情報公開及びシティPRなど、市民及び国内外への情報発信を行う
- 3 人事、研修、組織・機構、事務管理の総括など、内部管理的な業務を行う

	一主要事業一	要求額(百万円)
中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援	首都圏販路拡大推進事業	10〔東京事務所〕
協働による観光振興とコンベンション事業の推進	首都圏シティPR事業	23〔東京事務所〕
	「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担金	11〔国際部〕
	東アジア都市間文化交流事業	1〔国際部〕
	在住外国人支援施策推進事業	4〔国際部〕
ゆたかな冬の暮らしの実現	世界冬の都市市長会関連事業	16〔国際部〕
その他	行政評価制度推進事業	4〔市政推進部〕
	出資団体評価システム推進費	1〔市政推進部〕
	平和都市宣言普及啓発費	3〔行政部〕
	市民意見の政策反映システム事業	1〔広報部〕
	札幌・ミュンヘン姉妹都市提携35周年事業	6〔国際部〕

：新規事業 ：レベルアップ事業

● 市民意見の政策への反映を進めます

市民意見の政策反映システム

市民の皆さんから寄せられたご意見から、施策に結びつく可能性の高い意見を抽出し、庁内検討会議を経た上で市民の意識調査等を実施し、施策への反映を進めます。結果については、ホームページで市民に公開します。

● さっぽろブランドを首都圏に売り込みます

首都圏販路拡大推進事業

新たなさっぽろブランドの発信と本市産業の活性化を図るため、札幌企業の魅力ある製品や技術を、最大のマーケットである首都圏に紹介し、販路の拡大を推進します。

● 海外都市とのまちづくり交流を深めます

札幌・ミュンヘン姉妹都市提携35周年事業

世界冬の都市市長会関連事業

姉妹都市や世界の冬の都市との交流を進めることにより、海外都市との友好親善を深めていくとともに、様々な文化や施策を学び、札幌のまちづくりに生かします。

<主な見直し項目(効果額)>

・人件費の見直し(給与改定等)	552百万円
・一般事務費の削減	83百万円
・施設維持管理費の見直し	12百万円
・公用車更新経費の節減	4百万円

市民まちづくり局

一般会計要求総額 13,611百万円
(対前年度 0.4%)

< 要求の基本的考え方 >

既存の市街地やインフラを再生・活用し、環境との調和を図りながら、コンパクトな市街地の形成を目指す。
市民と行政が情報を共有し、対話を通じて市民が積極的に市政に参加できるような環境の整備を進める。

	一主要事業一	要求額 (百万円)
魅力あふれる地域づくりの推進	元気活動創出事業	8 [地域振興部]
	さっぽろ元気NPOサポートローン事業	9 [地域振興部]
	(仮称)清田区地区センター建設	506 [地域振興部]
	市民との協働による都市計画制度普及事業	3 [都市計画部]
歩いて暮らせるゆたかで快適な街の創造	都心交通対策推進事業	14 [企画部]
	道路交通調査	114 [総合交通計画部]
	路面電車活用方針検討調査	21 [総合交通計画部]
市民まちづくり局独自重点事項等	札幌市立大学運営費交付金等	1,637 [企画部]
	市民交流複合施設検討事業	40 [企画部]
	札幌申請モデル推進事業	10 [情報化推進部]

：新規事業 ：レベルアップ事業

● さっぽろを支え、発信する人づくり

札幌市立大学運営費交付金等

札幌市立大学が行う教育・研究を柔軟に安定的に実施できるよう、市長が認可した中期計画に基づく大学運営に要する経費の一部を運営費交付金として措置する。



● 歩いて暮らせるゆたかで快適な街の創造

道路交通調査

パーソントリップ調査の結果を基に、現況分析と将来交通計画検討のための予測モデルの作成、都市圏の将来像の検討を行う。



● 魅力あふれる地域づくりの推進

(仮称)清田区地区センター建設

区民自らが考え地域のニーズを集約したワークショップの意見を取り入れた、地域コミュニティ活動の拠点となる地区センターを清田区里塚に新設する。

< 施設の概要 >

建設予定地 清田区里塚2条5丁目
規模 敷地面積2,300㎡、延床面積1,300㎡
竣工予定 平成20年1月末

● 市民まちづくり局独自重点事項

市民交流複合施設検討事業

現市民会館の閉館決定を受けて、市民会館の後継となる新たな市民交流複合施設の検討を行う。

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 25百万円
・施設運営管理費の見直し 99百万円
・団体補助金の見直し 3百万円

保健福祉局

一般会計要求総額
158,115 百万円
(対前年度 0.1%)

< 要求の基本的考え方 >

高齢者、障がいのある方、子どもをはじめ、誰もが互いに理解し尊重しあいながら、地域の中でふれあい、支えあって、安心して生きいきと健康に暮らせる地域社会の達成のため、保健福祉サービスの充実を図る。

魅力あふれる地域づくりの推進	一主要事業一	要求額(百万円)
	福祉のまち推進センター補助	83〔総務部〕
少子化対策の推進	児童虐待発生予防・育児支援強化事業	15〔健康衛生部〕
	不妊治療支援事業	42〔健康衛生部〕
地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進	高齢者保健福祉計画策定調査	12〔保健福祉部〕
	障がい者「元気ショップ」運営事業	26〔保健福祉部〕
	はつらつシニアサポート事業	33〔保健福祉部〕
	重症心身障害児(者)通園事業	121〔保健福祉部〕
	障がい者グループホーム・ケアホームの拡充	988〔保健福祉部〕
	福祉除雪事業	89〔総務部〕
	2015年の高齢者介護推進事業	6〔保健福祉部〕
	障がい者相談支援事業	72〔保健福祉部〕
	地下鉄駅エレベーター等整備	1,517〔保健福祉部〕
地域での健康づくりの推進	健康さっばる21推進事業	6〔健康衛生部〕
	食育推進事業	13〔健康衛生部〕
	ヘルシークommunity促進事業・健康づくりネットワーク促進事業	12〔健康衛生部〕
	たばこ対策事業	3〔健康衛生部〕
その他	山口斎場サービス購入	1,254〔健康衛生部〕
	里塚斎場大規模改修(継続費19~20)	271〔健康衛生部〕

：新規事業 ：バリエーション事業

障がい者

『元気ショップ』

障がいのある方の活動の発信の場に！

平成18年度にオープンする「元気ショップ」を、小規模作業所、授産施設での製品販売や障がいのある方の活動発信場所として、またボランティア・市民との交流の場としてさらに発展させていきます。

地下鉄大通駅コンコース内に
平成18年12月オープン！



着々と整備を進めています

地下鉄駅エレベーター等整備



誰もが安心して暮らせるまちを目指して、地下鉄駅にエレベーターや車いす使用者用トイレの整備を進めています。平成 19 年度は、南郷 7 丁目駅と北 18 条駅の工事を昨年度に引き続き進めるほか、新たに中の島駅、北 12 条駅、バスセンター前駅の 3 駅で工事に着手します。

将来に向けて整備を進めます

山口斎場サービス購入
里塚斎場大規模改修

本市初の P F I 事業として建設された、山口斎場は平成 18 年 4 月に供用開始いたしました。

一方、里塚斎場は昭和 59 年に開場して 22 年が経過し、施設・設備の老朽化が著しいため、平成 19、20 年度に全面休場し、大規模な改修工事を行い、今後ますます増大する火葬需要に備えます。改修にあたっては、より使いやすくなるように機能アップを図ります。



平成 18 年 4 月に供用開始した山口斎場

< 主な見直し項目 (効果額) >

- ・人件費の見直し 1 2 0 百万円
- ・一般事務費の削減 5 3 百万円
- ・光熱水費の節減 5 百万円

特別会計



保健福祉局では、一般会計の他に、3 つの特別会計を有しています。

国民健康保険会計 (予算要求額 205,801 百万円)

平成 20 年 4 月からの医療制度改革に伴う各種の制度改革に迅速かつ円滑に対応するための準備を進めます。また、口座振替の促進など、滞納の未然防止対策を推進し、収納率の向上および歳入の確保に努めていきます。

介護保険会計 (予算要求額 87,826 百万円)

在宅や施設の介護保険サービスの提供に加え、平成 18 年度から実施されている介護予防などの地域支援事業を充実させていきます。特に介護予防の拠点となる地域包括支援センターと介護予防センターの充実に努め、高齢者の自立を支援していきます。

老人医療会計 (予算要求額 177,491 百万円)

国民の老後における健康の保持と適切な医療の確保を図るため、疾病の予防、治療、機能訓練等の保険事業を総合的に実施しております。

子ども未来局

一般会計要求総額 47,812百万円
(対前年度 1.2%)

< 要求の基本的考え方 >

すべての家庭が安心して子育てができるよう、区保育・子育て支援センターの開設や保育待機児童への対応に取組み、社会全体での子育て支援の展開を図る。

子どもが生活するあらゆる場面で子どもの権利が保障される社会の実現を目指した取組を進める。

	一主要事業一	要求額(百万円)
少子化対策の推進	地域主体の子育てサロン設置事業	9〔子育て支援部〕
	ミニ児童会館整備事業	318〔子ども育成部〕
	保育所待機児童対策事業	382〔子育て支援部〕
	延長・一時保育事業費補助	1,001〔子育て支援部〕
	少子化対策啓発事業	6〔子ども育成部〕
自立した市民に育てる教育の推進	さっぽろ夢大陸「大志塾」事業	4〔子ども育成部〕
	子どもワンダーランド事業	2〔子ども育成部〕

：新規事業 ：バリエアップ事業

● 子育てをサポート！

区保育・子育て支援センター整備（東区）

すべての子育て家庭に対する支援の充実を図るため、保育機能のほか常設の交流スペースや相談・支援機能を有する施設を開設します。
(18年4月に豊平区・西区・手稲区に開設、19年4月に東区に開設予定。)

地域主体の子育てサロン設置事業

子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場(子育てサロン)を各地域に広げていくため、遊具などの必要なものを提供し、住民が主体となった子育てサロンの活動を支援します。



● 保育所定員増と延長保育等の拡大

待機児童の解消を目指し、私立保育所の新・改築を積極的に進めます。

合計で300人増えるよ！

私立保育所新築費補助	1か所
私立保育所改築費補助	2か所
認可保育所整備促進事業	2か所

多様な保育ニーズに応じていくために、延長保育、一時保育の実施園を拡大します。

延長保育事業	11か所増
一時保育事業	9か所増

● みんなで参加しようよ！

さっぽろ夢大陸「大志塾」事業

子どもたちが自由な発想で企画した活動を自分たちの力で進めていく場を提供します。

子どもワンダーランド事業

外国からの留学生等との遊びを通じた体験交流により、相互の文化・習慣・考え方の違いを体験し、国際理解と子どもたちの健全育成を促進します。

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減	9百万円
・施設運営管理費の見直し	7百万円
・札幌市児童育成会運営委員会補助金の見直し	5百万円
・児童会館施設設備整備費の見直し	5百万円

環境局

< 要求の基本的考え方 >

「世界に誇れる環境の街さっぽろ」の実現に向けて「水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現」と「地球環境問題への対応と循環型社会の構築」を柱に据え、事業の優先付け・重点化を図る。

一般会計要求総額

24,725 百万円

(対前年度 0.2%)

地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進

— 主要事業 —

要求額(百万円)

福祉のまちづくり公園整備・・・ 259 [みどりの推進部]

水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現



リラの花香る街づくり事業	35	[みどりの推進部]
みどりゆたかな都心づくり事業	31	[みどりの推進部]
一家庭一植樹推進	9	[みどりの推進部]
マイタウン・マイフラワープラン事業	4	[みどりの推進部]
市民主体の公園等管理推進支援事業	1	[みどりの推進部]
市民参加による都市緑化推進事業	12	[みどりの推進部]
個性あふれる公園整備	314	[みどりの推進部]
プレイリーダー育成事業	1	[みどりの推進部]

地球環境問題への対応と循環型社会の構築

CO ₂ 削減普及推進事業	52	[環境都市推進部]
都市再生プロジェクトE+ネットネットワーク構築事業費補助	187	[環境都市推進部]
さっぽろごみプラン21改定	6	[環境事業部]
リサイクル事業推進	14	[環境事業部]
事業系ごみリサイクルシステム構築事業	6	[環境事業部]
発寒清掃工場排ガス高度処理施設整備	151	[環境事業部]

北国らしいゆたかな暮らしの実現

冬の公園利用活性化事業・・・ 1 [みどりの推進部]

その他

ポイ捨て等防止啓発・指導事業・・・ 15 [環境事業部]

● さっぽろごみプラン21の改定

札幌市一般廃棄物処理基本計画を改定

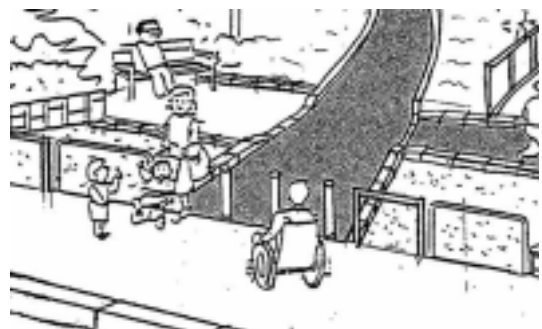
審議会からの答申や市民の皆さんからの御意見を踏まえて、ごみの減量や処理などに関する新たな施策を盛り込んだ計画に改定します。



● 福祉のまちづくり公園整備

既設公園のバリアフリー化

障がいのある人や高齢の人など誰もが楽しく、快適に利用できる公園にするため、出入り口や園路の段差解消、ベンチ・手摺の設置や身障者対応トイレへの交換等の整備を行います。



< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費・施設保守契約等削減 174百万円

経済局

一般会計要求総額

86,874百万円
(対前年度 1.5%)

< 要求の基本的考え方 >

中小企業を、資金及び経営基盤強化の両面から、きめ細やかに支援するとともに、厳しい雇用環境を踏まえ、雇用機会の創出や再就職支援の取組みを推進していく。

大学等の研究成果の集積など、札幌の産業資源を有効に活用し、高い競争力を有する新たな産業の創出・育成を推進していく。

	一主要事業一	要求額(百万円)	
中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援	ベンチャー支援事業	37	〔産業振興部〕
	中小企業金融対策資金貸付	79,753	〔産業振興部〕
	コミュニティビジネスによる商店街振興事業	6	〔産業振興部〕
	中小企業アドバイザー事業	12	〔産業振興部〕
安心して働ける環境づくり	就業サポートセンター事業	94	〔雇用推進部〕
	若年層就業体験支援事業	49	〔雇用推進部〕
	雇用創出型ニュービジネス立地促進事業	220	〔産業振興部〕
	コミュニティ型建設業創出事業	15	〔産業振興部〕
さっぽろの知恵を活かした特色ある産業の振興	高度情報通信人材育成・活用事業	71	〔産業振興部〕
	デジタルコンテンツ産業化推進事業	40	〔産業振興部〕
	創造都市さっぽろ (sapporo ideas city) 推進事業	15	〔産業振興部〕
	「顔の見える農業」推進事業	3	〔農務部〕
アジアを中心とした産業ネットワークの拡大	アジア圏等経済交流促進事業	38	〔産業振興部〕

：新規事業 ：バ・ルアップ事業

● コミュニティ型建設業創出事業の拡充

コミュニティ型建設業創出事業

地域や個人の様々な生活ニーズと建設業等が持つ経営資源をマッチング・コーディネートすることで、地域に根ざした事業展開を模索するとともに、地域住民の困りごとを安心して解決できる仕組みづくりに取り組んできました。

19年度から実施エリアを市内5区から全区へ事業を拡大します。



● 若年層の雇用機会の拡大

若年層就業体験支援事業 (ジョブチャレンジ事業)

若年層に就業体験をする機会を提供するとともに、雇用機会の創出を図るため、受入企業の確保と受入企業への支援を行います。



● 映像産業基盤の確立へ

デジタルコンテンツ産業化推進事業

前年度に引き続き、「第2回札幌国際短編映画祭」を開催するとともに、札幌における映像産業の基盤確立を目指します。



● 資金面での中小企業支援

中小企業金融対策資金貸付

中小企業の資金調達の円滑化のために、融資制度の見直しを進めます。



< 主な見直し項目 (効果額) >

・一般事務費の削減	5百万円
・施設運営管理費の見直し	12百万円
・団体補助金の見直し	1百万円

観光文化局

一般会計要求総額 7,208百万円
(対前年度 34.3%)

< 要求の基本的考え方 >

芸術・文化、スポーツを通じた魅力あるまちづくりの推進
集客交流の促進

協働による観光振興とコンベンション事業の推進	— 主要事業 —	要求額(百万円)	
	観光都市さっぽろ推進事業	28	〔観光部〕
	ターゲット別国内観光プロモーション事業	9	〔観光部〕
	国際観光促進事業	11	〔観光部〕
芸術・文化の薫る街の実現	サッポロ・シティ・ジャズ事業	46	〔文化部〕
	さっぽろアートステージ事業	23	〔文化部〕
	キタラファーストコンサート事業費補助	29	〔文化部〕
スポーツの魅力あふれる街の実現	トップアスリートの積極活用事業	2	〔スポーツ部〕
	ウインタースポーツ振興事業	2	〔スポーツ部〕
	さっぽろスポーツキャラバン隊事業	6	〔スポーツ部〕

● 集客交流都市としての魅力の発信

観光都市さっぽろ推進事業

「個人客への対応の充実」「来客の受入体制の強化」「札幌の持つ魅力の発信」「コンベンションの誘致」という4つの視点から、さまざまな事業を行うことにより、札幌のまち全体の魅力を一層高め、集客交流の促進を図ります。



● 多様な芸術文化に親しみ、交流・発信する環境づくり

サッポロ・シティ・ジャズ事業

芸術の森で実施していたジャズイベントの充実を図り、国内有数のジャズフェスティバルへとステップアップさせる事業の支援を行います。



日本初となる音と映像のミュージックテントで世界と日本のトップミュージシャンが登場するライブを連日開催します。

大通公園や札幌駅前広場、市役所など都心にある公園や広場を中心に、プロ、アマを問わずストリートライブを展開します。

● 健康づくり運動とスポーツ振興の連携

さっぽろスポーツキャラバン隊事業

公園や学校などの身近な場所に出向いてスポーツ講習会等を開催し、市民にスポーツ活動のきっかけとなるようなプログラムを提供することにより、健康づくり運動とスポーツ振興の連携を図ります。



< 主な見直し項目(効果額) >

- ・ 其他事務事業の効率化 13百万円
- ・ 団体補助金の見直し 9百万円

建設局

一般会計要求総額

57,769百万円
(対前年度 2.0%)

< 要求の基本的考え方 >

事務事業の抜本的な見直し及び再構築(各事務事業の重要性や必要性を十分精査し、優先順位をつけるなど選択を徹底)

選択と集中の促進による計画事業の確実な推進

収入率の向上・歳入の確保に向けた積極的な取組みの推進

	一主要事業一	要求額(百万円)
水とみどりの うるおいと 安らぎのある 街の実現	水と緑のネットワーク事業	108〔下水道河川部〕
	多自然河川整備事業	206〔下水道河川部〕
ゆたかな冬の 暮らしの実現	歩道の凍結路面对策による歩行環境の改善	75〔管理部〕
	地域に密着した雪処理の推進	32〔管理部〕
歩いて暮らせ るゆたかで快 適な街の創造	JR白石駅周辺地区整備	1,510〔土木部〕
	歩道バリアフリー化事業	507〔土木部〕
	歩行者と自転車の共存する空間の創出事業	113〔管理部〕
	都市型レンタサイクル事業	6〔管理部〕
	札幌駅前通地下歩行空間整備	2,001〔土木部〕
	創成川通アンダーパス連続化事業	4,734〔土木部〕
そ の 他 (一部上記 事業を含む)	円滑な道路交通の確保(主要幹線道路の整備など)	12,281〔土木部〕
	安心・安全な道づくりの推進(あんしん歩行エリアなど)	7,055〔土木部〕

● 総合的自転車対策とマナー啓発の推進

歩行者と自転車の共存する空間の創出事業

年々増加する放置自転車に対応するため、これまでに駐輪場の整備や放置自転車の即時撤去などの対策を講じてきましたが、依然、路上に放置する自転車は多く見られます。

今後も駐輪場の整備や「自転車等放置禁止区域の指定」などの対策を行うとともに、自転車利用に関するルールやマナーが利用者に浸透するよう啓発活動を推進します。

113 百万円

● 都心の再生に向け本格的工事に着手

札幌駅前通地下歩行空間整備 創成川通アンダーパス連続化事業

札幌駅前通地下歩行空間整備事業では、平成18年度に引き続き、地下鉄さっぽろ駅の改修工事や通路本体の工事を行います。

2,001 百万円

創成川通アンダーパス連続化事業は、平成18年度に引き続き、トンネル本体工事を行います。

4,734 百万円

● 効果的・効率的な雪対策の推進

除雪費

雪対策事業は「札幌市雪対策基本計画」に基づき、より効果的・効率的に除排雪、凍結路面对策などを実施します。

- ・狭小バス路線の除排雪
- ・交差点排雪
- ・凍結防止剤散布
- ・歩行者用砂箱設置など



14,506 百万円

< 主な見直し項目(効果額) >

- ・一般事務費の削減 78 百万円
- ・施設管理及び道路維持管理等の見直し 10 百万円
- ・道路占用料等の改定 27 百万円

都 市 局

一般会計要求総額 10,724百万円
(対前年度 1.4%)



< 要求の基本的考え方 >

厳しい財政状況の中、より公共公益性の高い事業を優先し、予算配分の重点化を図る。

活力に満ちあふれた都市の発展を目指し、調和のとれた良好な市街地整備を進めるため、都市再開発事業や土地区画整理事業による総合的なまちづくりを推進する。

高齢化社会の進展等に対応し、高齢者や障がい者をはじめ市民が安心して暮らせるための住宅の普及を促進する。

市有建築物の長寿命化を目指し、計画的な修繕への移行と予算の一元化を図る。

魅力あふれる地域づくりの推進

— 主要事業 — 要求額(百万円)
菊水上町地区住環境整備事業・・・99〔市街地整備部〕

地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進

既設市営住宅バリアフリー化事業・・・214〔市街地整備部〕
借上市営住宅整備事業・・・164〔市街地整備部〕
高齢者向け優良賃貸住宅供給事業・・・46〔市街地整備部〕
住まいのプラットフォーム連携事業・・・7〔市街地整備部〕
厚別副都心地区まちづくり事業・・・25〔市街地整備部〕

地球環境問題への対応と循環型社会の構築

保全計画策定・・・48〔建築部〕
耐震診断・・・18〔建築部〕
市有建築物長寿命化推進事業・・・767〔建築部〕

歩いて暮らせる快適で美しい街の創造

JR篠路駅西第2地区再開発事業・・・412〔市街地整備部〕

住まいの安全・安心の確保

木造住宅耐震診断補助事業・・・14〔市街地整備部〕
構造計算支援等事業・・・17〔建築指導部〕

：新規事業 ：バリアップ事業

● 市有建築物長寿命化に向けた取組

市有建築物長寿命化推進事業 767百万円

市有建築物の延命化を目指し、計画的な修繕への移行や予算の一元化を図るなど、今後の保全のあり方を示す長寿命化基本方針に基づき、次の取組を実施する。

- 1 市有建築物の中からモデルを選定し計画的な修繕を実施
- 2 計画的な修繕への移行前に実施すべき緊急性の高い施設の改修や修繕を実施
- 3 大規模改修や建替えの基本計画や修繕計画の作成等の実施

● 地域で快適に暮らすために

既設市営住宅バリアフリー化事業 214百万円

既設市営住宅へのエレベーターの設置など、高齢者や障がい者を含めて誰もが安心して住むことのできる住宅ストックの形成に向けた取組みを推進する。

< 主な見直し項目(効果額) >

- ・一般事務費の削減 9百万円
- ・市営住宅使用料等の見直し 79百万円
(平成18年度見直しにおける負担軽減の縮小に伴う収入増)

消防局

一般会計要求総額 5,162 百万円
(対前年度 2.2%)

< 要求の基本的考え方 >

「安全と安心を誇れる街さっぽろ」

経営資源の充実
各種災害への対応力の強化
救急救命等の充実

— 主要事業 —

要求額(百万円)

消防署所庁舎保全改修	84	〔総務部〕
消防車両購入	465	〔総務部〕
豊平消防署改修費	331	〔総務部〕
特別高度救助隊整備	57	〔警防部〕
耐震性貯水槽整備	39	〔警防部〕
救急業務高度化推進	48	〔警防部〕

：新規事業 ：バリエーション事業

● 特別高度救助隊 「スーパーレスキューサッポロ」

特別高度救助隊整備

地震などの大規模な災害に対応する特別高度救助隊（スーパーレスキューサッポロ）に探査装置などの高度救助資材を整備し、安全と安心を確保します。



● 救命率の向上を目指して

救急業務高度化推進

救急救命士の行う処置が拡大され、平成 16 年 7 月から開始された気管挿管に加え、平成 18 年 4 月から薬剤（強心剤）投与が可能となりました。

救急救命士に対する気管挿管や薬剤投与の研修、救急資材の充実を継続して行い、救命率の向上を目指します。



< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減	35 百万円
・施設維持管理業務の見直し	4 百万円
・光熱水費の節減	1 百万円

教育委員会事務局

一般会計要求総額 33,929百万円
(対前年度 11.0%)

< 要求の基本的な考え方 >

教育に期待する市民要望に的確に添えていくため、ソフト・ハード事業とも積極的に予算を計上する。

「札幌市教育推進計画」等の教育委員会の諸計画を着実に推進する。

	一主要事業一	要求額(百万円)
自立した市民に育てる教育の推進	新しいタイプの定時制高校設置事業	169 [総務部]
	小中学校特殊学級整備	31 [学校教育部・総務部]
	スクールカウンセラー活用事業	144 [学校教育部]
	不登校対策事業	36 [学校教育部]
	外国語指導助手関係	224 [学校教育部]
さっぽろを支え、発信する人づくり	学校・地域連携事業	3 [生涯学習部]
	学校図書館地域開放事業	74 [生涯学習部]
	大通コンコース図書貸出返却コーナー運営	7 [中央図書館]
その他	学校施設改築事業	5,698 [総務部]
	特別支援教育巡回相談員配置モデル事業	42 [学校教育部]
	私立幼稚園就園奨励費補助	1,475 [学校教育部]
	私立学校教材教具等整備費補助	261 [学校教育部]
	自動体外式除細動器(AED)整備事業	20 [学校教育部]

：新規事業 ：レベルアップ事業

安全・安心な学校づくり

改築事業

平成20年3月竣工



老朽化した東白石中学校と羊丘中学校などを改築します。

整備にあたっては、バリアフリー化や施設の長寿命化を図り、環境にも配慮した外断熱施工を行うとともに、地域開放を目指して利用しやすい教室配置とします。

平成20年4月開校予定

新しいタイプの定時制高校設置事業



市立高等学校4校の定時制課程を発展的に再編し、単位制・三部制の定時制高校を平成20年4月に旧大通小学校跡地で開校します。

校舎については、2年間同校校舎を暫定活用します。

19年度は暫定校舎の改修工事や必要な備品等の整備などを行います。

特別支援教育のために

特別支援教育巡回相談員配置モデル事業

通常の学級で学ぶ軽度発達障害等の特別な支援が必要な児童生徒への支援を適切かつ効果的に推進できるよう、巡回相談員を配置します。

AEDを整備します

自動体外式除細動器(AED)整備事業

18年度の中学校、高校に続き、19年度新たに幼稚園、小学校にAEDを配置することで幼児・児童・生徒や教職員の安全確保を図ります。

楽しく学校生活を送るために

外国人指導助手招致事業



外国語(英語)教育における生徒のコミュニケーション能力の育成、国際理解教育の推進を目的として、中学校と高等学校に外国人指導助手を配置します。

< 主な見直し項目(効果額) >

- ・一般事務費や学校管理費などの削減 59百万円
- ・学校や生涯学習施設整備費などの削減 91百万円